



# 研究部HP



# 版

第6版 教育研究部 令和2年6月発行

(文責:細井)

## ～ 強化子 ～

### 1 始めた! (第5版なぜしないのだろう続き)

教室の雑巾がけをしない子がいます。その子に、「雑巾がけをがんばったら、一つ見ていいよ」といって、7種類の動画の絵カードを提示しました。動画の内容は、その子が小さいとき雑誌の付録としてついてきたDVDからのもので、今はその子の手元にはなく、ある時から思い出したかのようにDVD名を母に言うようになり、欲しがっているものの一つでした。過去の雑誌の付録なので、書店ではもう購入することのできないものでもありました。その子は一枚のカードを選んで渡すと共に雑巾がけの準備をし、息を切らし汗をかきながら教室全体の雑巾がけを終えたのでした。そして机につくと約束(契約)した動画を見ることができたのでした。

### 2 強化子には2つの種類がある

「ほめて伸ばす」的なことはみなさん耳にしたことがあると思います。「がんばったね」「すごいね」などの褒め言葉をかけられるとたいていの人は「うれしい」などのよい感情になると思います。すなわち「いいこと」が起こることになるので、「褒め言葉」は強化子となります。そして、種類でいうと「人的強化子」となります。「人的強化子」には以下のようなものがあります。



#### 〈人的強化子〉

- |        |            |               |                 |
|--------|------------|---------------|-----------------|
| ・ハイタッチ | ・笑顔        | ・背中をポンと叩く     | ・親指を立てる (やったね等) |
| ・頷き    | ・同意 (そうだね) | ・褒め言葉 (すごいね!) | ・握手や拍手 e t c    |

人は生後8～9ヶ月で褒められることはいいことだと認識し始めるそうです。その後、社会性という土台の上に、いろいろな経験を通して学習して積み上げていくことで、人的強化子を認識していくそうです。すなわち、人的強化子は社会性という土台があって成り立つものということになります。

ということは、社会性に課題を抱えている人にとっては、人的強化子は通じにくいということでもあります。自閉症の方はこの社会性に課題を抱えている場合があるので、通じにくい可能性があります。自閉症の方がハイタッチをする場合、「喜びを分かち合う」などの人的強化子として行っているというよりは、儀式的(目の前で自分に両手を挙げられたら、両手でタッチ仕返すという一種のパターン化)なものか、両手をタッチする感覚を楽しんでいる場合の方が多いそうです。だからといって、自閉症の方に人的強化子は用いない、ということではありません。その価値を伝えていくことは非常に重要です。方法については改めてお伝えしていきたいと思います。

もう一つの種類は、具体的な物や活動、感覚などの「物的強化子」です。

### 〈物的強化子〉

具体物	・絵本	・シャボン玉	・おもちゃ	・鍵	・シール	e t c
食べ物	・グミ	・ジュース	・ポテトチップス	・餃子	・うどん	e t c
活動	・色塗り	・ゲーム	・動画	・買い物に行く	・ブランコ	e t c
感覚	・頭をぎゅっとする	・くすぐり	・音楽	・懐中電灯		e t c

「給料」も当然のことながら「物的強化子」です。私が参加した講習の先生が子どもたちに対してよく用いる「物的強化子」として挙げられていたのは、「宿題なし券」「列の先頭になれる券」「休憩5分伸びる券」「先生と10分話せる券」などでした。子どもたちの強化子となりえる活動等を考え、「券（チケット）」という形で様々作られているそうです。



こうしてみると、子どもの「好きなもの」＝「物的強化子」と思われるかもしれませんが、必ずしも「好き」という概念がついてくるものではありません。以前、この通信でも書きましたが、「部屋が明るくなる」も物的強化子ですし、雨天時の「傘」や食事の際の「箸」も物的強化子になり得ます。

そして、物的強化子になり得るものは絶えず変化します。好きな食べ物を毎日出された時のことを考えていただければ、この意味がわかっただけかと思えます。何日かは喜んで食べるでしょうが、次第に飽きてくる、場合によっては逆に嫌いになることもあるでしょう。また、状況や環境によっても変化します。今の時期、外で作業しているときに「休憩時間にアイスクリームを用意しているからがんばろう」と言われたとき、「アイスクリーム」は物的強化子になるでしょう。しかし、冬の寒い時期に外で作業していて、「アイスクリームがあるからがんばろう」と言われて物的強化子になる人はそういないでしょう。

## 3 どちらの強化子を望みますか？

ある会社に勤めているAさんとBさん。年齢、勤務年数、担当する仕事の内容は全く同じです。Aさんはしょっちゅう上司に褒められています。Bさんは一回も上司に褒められることはありません。給料日、Aさんは10万円もらいましたが、Bさんは50万円もらいました。さて、皆さんは仕事においてAさんとBさんのどちらの立場を選びますか。



少し、極端な例だったかもしれませんが、褒められる＝人的強化子だけで仕事をがんばるのは、難しいのではないのでしょうか。すなわち、人的強化子は常に効果を発揮するわけではないということです。これは、仕事の話だけではなく、いろいろな場面でもいえることです。



先の先生曰く「強化子探しは永遠に続く」そうですが、この通信でも「強化子」の話はしばらく続きます。【7月発行第7版に続く】

引用・参考：PECS トレーニングマニュアル第2版

カット：Pics for PECS 第15版（掲載許諾済み）

